

第1回定例会

予算特別委員会審査報告は、要旨を掲載しております。

・ 予算特別委員会審査報告

予算特別委員会審査報告

(要旨)

健全財政を堅持し、安全安心で住みよくなりますづくりを願う

3月9日、予算特別委員会に付託となりました平成24年度佐呂間町一般会計予算並びに各特別会計予算については、12日に当委員会を開催し審査を行いました。

審査を行うに当たっては、昨年度より第4期佐呂間町総合計画がスタートしましたが、厳しい財政が強いられる中で、歳入の確保と行財政改革の推進により歳出削減に努め、事業の選択と重点化を図った施策、事業となっているか。

また、前年度決算における意見等が十分に反映されているかなど、これらの事項に重点をおき、一般会計予算、各特別会計予算の付託案件の審査を行ったところであります。

平成24年度の一般会計総額は、46億9734万8千円で前年対比6億3781万5千円の減額で比率では12%の減となっております。これは前年

度の各種事業の終了によるものです。

歳入においては、予算総額の50%近くを占める地方交付税が、5900万円の減少となりました。自主財源である町税は、景気の落ち込み、消費低迷等により財源確保が不安定であります。漁業所得が良好で結果的に3600万円の増となっております。しかし収支のバランスは各種基金の繰り入れにより均衡を図っているのが実情であります。

特別会計においては、6会計で合わせて21億8672万4千円で前年度より、2228万円の減少となりました。増えた会計は、介護サービス事業特別会計の特別養護老人ホームの機械設備改修工事と後期高齢者医療特別会計の広域連合納付金の増です。また減少の会計は簡易水道、国民健康保険、公共下水道、介護保険の4特別会計です。

本年度の予算編成に係る歳出は、物件費などの経常経費と少子高齢化に伴う扶助費の増加もありますが、新たな行政課題にも配慮しながら緊急性、将来性、事業の必要性、妥当性に十分な配慮がなされているものと理解するものであります。

次に歳入については、国内外の経済動向や国の政策による制度変更、景気の落ち込みにより、国の平成24年度予算編成では地方財政規模も23年度並の17兆5000億円が確保されましたが、国債発行額が税収を上回る国の財政状況でありますので、今後の国の動向を慎重に見定めていくことが重要であります。

このような状況の中で、国の社会経済が先行き不透明な中、国の財政状況によって自治体を取り巻く環境が大きく変わるものと予想されます。また、国においては国と地方

のあり方を変える地域主権改革の取り組みが進められておりますが、地域主権とは、地域が自らの判断と責任において地方の課題に積極的に取り組み、地域の活性化と地域住民の営みを豊かにすることです。

益々厳しくなる地方財政において、経費の削減はもちろんです。行政は何をすべきかを再認識するとともに、緊急性・将来性・効率性など十分な精査をしながら、さらに安全で安心な住みよいまちづくりが構築されることを願うものであります。

以上、当委員会に付託されました平成24年度一般会計予算ほか6特別会計の7議案に対する審査の結果、原案可決と決定いたしましたので、報告いたします。

第1回定例会

予算特別委員会の質疑の主なものを要約し掲載しました。

・予算特別委員会質疑の中から

予算特別委員会質疑の中から

総務費

(質) 竜巻災害慰霊事業はいつまで続けるのか。

(答) 今年の式典は例年どおりの形で進めたいと思います。また、来年以降については、これから協議していきたいと思います。

(質) 公用車は何台所有しているのか。

(答) 一般の車両が25台、バスが12台、ダンプなどの特殊車両を含め55台ほど所有しています。一般車両の大きさは、1300cc程度の車両が一番多いと思います。

(質) ふれあいバス利用者数に応じた車両配置は可能か。

(答) 若里線で座席が不足する状況があることは承知していますが、大型バスは富武士線で使用している1台しかなく、現有車両での再配置は困難と考えますが、児童生徒数などの状況を見ながら対応を検討したいと思います。

民生費

(質) 在宅介護者は紙おむつの支給があるが、施設入所者に支給がないのはなぜか。

(答) 社会福祉協議会の事業として行っていますが、この事業の目的は、家族介護の負担軽減を図るためであり、家族が介護する必要のない施設入所者は該当になっていません。

(質) 高齢者や障がい者の孤独死問題の対策は。

(答) 以前から一人暮らしの方や高齢者の見守りなどを行ってきましたが、昨年から高齢者安心ネットワーク会議を設立し、改めてその中の事業として孤独死問題に取り組み始めたところです。

(質) 平成24年度から始まる児童クラブの内容と利用希望者数、また利用者が増えたときの人員配置はどうなるのか。

(答) 小学校1年生から3年生までの児童が対象で、下校

時に仕事や病気などで保護者が在宅でない家庭が児童クラブに登録し、学校から直接児童館に通うというものです。利用申し込みは、今のところ15名の登録申し込みがあります。なお、今後とも随時受け付けしていきます。

また、児童館利用者と児童クラブの全体人数が増えたときは、増員も検討していかなければならぬと考えています。

(質) 利用者が15名となれば、児童クラブに専用室と専任の指導員が必要ではないか。また、障がいのある児童も一緒に受け入れるべきではないか。

(答) 今回、児童クラブという形で始まりますが、この形が完成形というわけではなく、スタッフの配置や障がいのある児童への対応を含め、今後の状況変化で柔軟に次のことも考えていかなければならないと思います。今はこの形を確立しなければならぬと考えています。

衛生費

(質) 市街地区排水溝の悪臭対策の結果は。

(答) 昨年、郵便局の裏側の側溝の高圧洗浄、側溝内の土砂・汚泥汲取り清掃を行い一時的には解消されましたが、その後またにおいがするようになり、これを解決するため、平成24年度は側溝にコンクリートのふたを設置し、このにおいの原因がどこなのか確認してから対処していきたいと考えています。

農林水産業費

(質) 安愚楽牧場の預託牛減少による町有牧場への影響は。また、牧場の草地改良の必要性は。

(答) 乳牛の入牧が減少する中、安愚楽牧場の預託牛がある程度の数を入れていたことで、牧場運営の一助になっていたが、なくなると大きな影

第1回定例会

・予算特別委員会質疑の中から

響があると思いますが、他にも農家から入れたいとの話もありますし、利用組合にも経費を節約しながら何とか今の体制でやっていくよう話をしているところです。

草地については、牧場を減らしてきたため、1箇所当りの牛の頭数も多く、傷んできている状況ですが、毎年簡易的に機械で切ったり、肥料が土に入りやすいように草の上からかきまぜたりしながら管理しています。今後は、入牧する頭数を見ながら、更新もできる範囲で行っていかうと思っています。

(質) 民有林の育成指導対策を強化すべきでは。

(答) 民有林の育成指導として、森林組合に民有林育成指導費補助金300万円を支出していますが、民有林の状況と諸般の事情からこしはらくこの金額で推移しているところです。

消防費

(質) 消防職員の人員配置、体制は十分か。退職職員の再任用を検討してはどうか。

(答) 消防職員については、4月から1名増員し16名体制になります。現在は15名中佐呂間在住が12名、通勤が3名で、職員住宅の空きが2戸あるので、新しい職員がきても住宅の対応は可能です。この16名というのは、他の地区と比べても多い人数であり、必要最低限の人員は確保されていると思います。また、広域での職員配置なので、地元以外の職員も佐呂間に勤務するため、地域の状況に詳しくない場合も考えられますが、広域組合の中で佐呂間だけで再任用することはできません。

(質) 教育委員と社会教育委員の連携は図られているか。

教育費

(答) 教育委員の役割は、生涯学習などの社会教育もありませんが、現状は学校教育が主体となっています。その中で、両委員が連携し何かを行っているといるものはありません。

ただし、話し合いという部分では、過去に行ったことがあり、また行いたいと検討しているところがあります。

(質) 学校給食の地場産品の利用計画は。

(答) 平成23年度から豚肉は100%地場のものを使っていて、牛肉についても昨年12月からハンバーグやビーフカレーに使用しています。平成24年度では、試験的にホウレンソウやブロッコリーなどの野菜を急速冷凍し、旬の時期以外でも使っていけるよう検討しています。

歳入

(質) 固定資産税の減額要因は。

(答) 評価替えの年に当たり土地、建物の評価額を見直しています。その中でも建物が大きく下がっている状況です。

(質) 立木売却収入の増額要因は。

(答) 昨年は素材生産だけでしたが、平成24年度は素材生産と間伐材の売り上げを含めたため増額となっています。

国民健康保険

(質) 国保の基金積立金の残高は。

(答) 平成23年度末で2184万円となる見込みで、平成24年度は歳入に2000万円繰り入れ予定ですので、年度末残高は187万円に大幅に減少する見込みです。

介護保険

(質) 介護保険での要支援1、2は従来どおりのサービスか。

(答) 今までどおり介護プランを立ててサービスしていきますので変わりありません。

介護サービス

(質) 特別養護老人ホームの待機者解消や短期入所者増への対応は。

(答) 短期入所者用5床を含め全体で65床の中で調整しながら有効活用を努めていきます。また、今後は状況を見ながら増床なども含めて検討していきたいと考えています。